

木崎小学校 登校班のあり方について アンケート結果のご報告

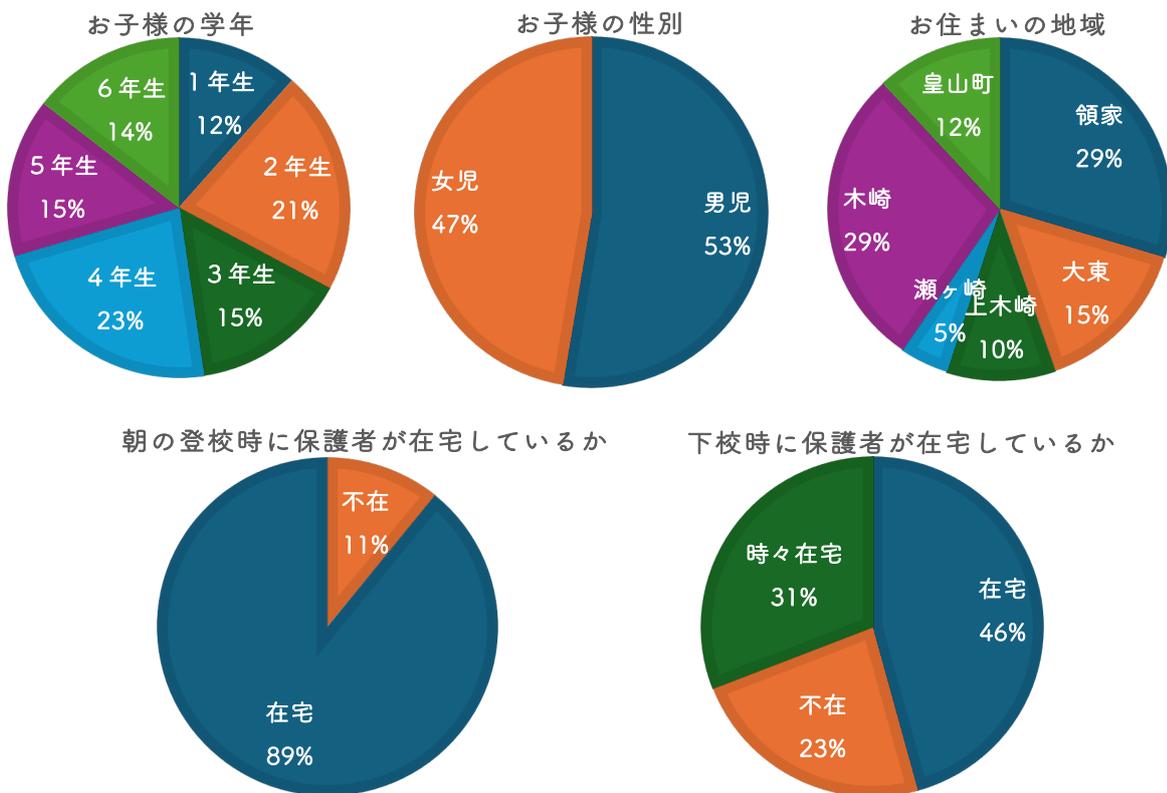
令和8年3月吉日
木崎小学校 PTA 会長 近藤卓

日頃より木崎小 PTA の活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。令和7年7月に実施いたしました登校班のあり方についてのアンケートでは、多くの方にご協力をいただき、誠にありがとうございました。アンケート集計結果をご報告いたします。

- 目的** 共働き世帯の増加、核家族化など、各ご家庭の事情も変化してきている中、保護者様のご負担や登校班内での課題を整理し、今後の登校班のあり方を検討していくための基礎資料を得るため
- 実施期間** 令和7年7月10日（木）～令和7年7月16日（水）
- 対象者** 令和7年度在籍木崎小全児童保護者
- 回答数** 304件 ※一家庭1回答ではなく、児童一人につき1回答入力可能

結果

ご回答いただいた保護者様について



登校班について

◆良かったこと（抜粋 回答数 258）

【集団登校による安全・安心】154件

- ・低学年は一人で登校するよりも安心・安全と感じる。
- ・高学年が注意してくれたり助けてくれるので安心して登校できる。
- ・1年生の時、お世話係さんが付き添ってくれたので安心できた。
- ・一定の時間に登校するので地域の目が届きやすく安心。
- ・不審者が多い、学校まで遠い、交通量が多い道があるので集団の方が安全である。他の保護者と危険を共有できる。
- ・自動車やバイクは登校班が通る道を避けて通行しているので事故防止になっている。
- ・転入時に心配が少なかった。

【地域の交流】57件

- ・子どもはお友達や上級生と登校できるので嬉しそう。
- ・近所に仲のいい友達がなくても集団で登校できる。
- ・近所に友達ができる、他学年の児童、保護者同士、地域の方とも交流が持てること。
- ・地域の方への挨拶の習慣が身についた。

【子どもの意識・生活リズム】35件

- ・決められた集合時間に間に合うよう、朝の生活リズムが身についたこと。遅刻せず登校できる。
- ・高学年になると、しっかりしなくては！と頑張る姿を見て成長を感じた。
- ・学年が上がり下級生ができたことで登校渋りが減った。

【保護者の負担軽減】

- ・親が付き添いしなくてもよいこと。仕事をしているため付き添いが難しい。
- ・子どもたちだけで登校できること。
- ・見送りができない時に登校班の保護者にサポートしてもらえたこと。

◆困ったこと（抜粋 回答数 209）

【子ども同士の関係】43件

- ・高学年の歩く速さに低学年がついていられない。歩く速さが違うため列の間が空いてしまう。
- ・他の子にちょっかいを出す子がいる。蹴る、叩く、ランドセルを押す、など。
- ・遊びながら歩く、縁石にのぼる、交通ルールを守らないなど危険な行動をする子がいる。
- ・危険な行動をする子の対応を班長や副班長、高学年の子がしなければならずストレス。子ども同士では安全の責任が持てない。
- ・他の班の子たちと話してしまい列が進まない。
- ・相性の悪い子と同じ班になる。登校班編成の時に子どもの人間関係まで把握できない。
- ・トラブルが起きた時に子ども同士での解決が難しい。
- ・安全ミーティングがなくなったため、高学年への指導が必要だと思う。

【お世話係・立哨に関すること】38件

- ・毎日送り出しを行っている。毎日の見送りだと仕事に間に合わない。
- ・毎日付き添わなくて良くなったはずだが、暗黙の了解で毎日付き添うことが当たり前になっている。各班ごと独自のやり方があるため疑問を感じる。
- ・登校時刻より早く出勤するため、年に何日かであっても仕事の出勤時間に間に合わない。
- ・1年間付き添うのは仕事との調整が難しい。
- ・見送りができず他の保護者に申し訳ない。
- ・バリケード、立哨当番のために子どもを残して家を出ることになる。
- ・欠席、遅刻の連絡を取り合うのが面倒。欠席理由を言いたくない。
- ・欠席、遅刻の連絡をしてこない保護者がいて、家まで確認に行く。
- ・班編成の時に地区委員、本部役員、お世話係、保護者との連絡がスムーズにいかず面倒だった。
- ・次年度の係や委員を決めるのが大変。
- ・学年にばらつきがあると自宅より遠い場所に編成される。

【集合時間】37件

- ・いつも時間を守らないご家庭がある。暑いなか、寒いなか待っている子どもがかわいそう。
- ・時間に来ない子の家に呼びに行くのが大変。
- ・集合場所に時計がないため、班員が揃っていない時、子どもだけでは出発の判断が難しい。

【保護者同士の関係】 10件

- ・お子さんについて困っていることを相談しても無関心、他の保護者に任せきり。
- ・お世話係がルールを守っていない。
- ・班内で保護者同士でトラブルがあり巻き込まれた。
- ・時間に間に合わなかった子がいたが、時間になったため出発したところ置いていかれたと言われた。
- ・近所付き合いがあるため何かあっても強く言えない。他の保護者に気を遣う。
- ・いつまでも大人が出てきて子どもたちだけで解決する力が養えない。
- ・保護者同士のトラブルが起きた際に学校に介入してもらえずストレスが大きかった。

【付き添いに関すること】

- ・登校班に間に合わない、忘れ物をして戻ってしまう場合は保護者が教室まで送る約束になっていると思うが、一人で登校している子がいる。
- ・近くのコンビニに車を停めて送迎している保護者がいる。
- ・子どもが周りの子に迷惑をかけてしまい、学校までの付き添いをお願いされて負担を感じた。

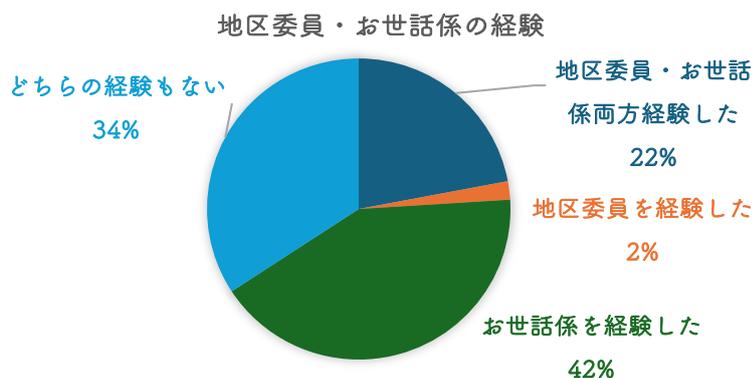
【通学路】

- ・自宅から集合場所が遠い。
- ・学校に近いので、学校と反対方向に集合場所がある。
- ・遠回りして通学している。

【その他】

- ・子ども自身が大勢と一緒に歩くのが苦手、一人で登校したい。

地区委員・お世話係について



◆地区委員経験者の感想（抜粋 回答数 67）

【良かったこと】

- ・地域の学年構成、旗振り当番、地域の危険な場所など、通学路のことが知ることができた。
- ・たくさん付き添いをして朝活・いい運動になった。
- ・地域のことが知ることができ、ボランティアさんと仲良くなれた。
- ・年単位だったが自分が動いたことで通学路が改善された。我が子が歩く通学路を何回も歩き地域のことがよくわかった。
- ・親子ともに、見てくれている方が感謝の気持ちをたくさん伝えてくださった。
- ・コロナ禍だったので大変ではなかった。
- ・ふれあい祭りの係をやったが、地区委員ならなければ知り合えなかった保護者とのつながりができ、自身の交友関係が広がった。集まりが多い時期は日程調整が大変だったが良い経験だった。
- ・全体像が見え、集団登校の意義を理解できた。フルタイムで仕事をしている方には負担だと思った。
- ・思っていたより大変ではなかった。たくさんの方の支えで成り立っていると感じた。
- ・共働きのため、平日午前中の集まりは仕事の時間調整に苦慮した。歴代の地区委員がこんなに大変な思いをして登校班編成、旗当番表作成、図書カードの配布準備などをしていたことがわかった。役員の方は相当な負担があったはず。感謝している。
- ・夏祭りのお手伝いで子どもたちの様子が見られて良かった。

【大変だったこと】

- ・決めること（登校班編成、旗振り当番、補助金の使い道、プレゼントの用意、新役員決めなど）、引き継ぎが大変だった。
- ・委員内の関係で精神的に苦しめられた。

- ・当番のわりふり、イレギュラーな対応が大変。
- ・保護者によって考え方が違うので、皆さんが納得するやり方にまとめるのが大変。
- ・資源回収の看板の出し入れが手間だった。家庭ゴミを捨てる方がいてその対応も手間だった。
- ・何年前は集まりが多く大変だった。仕事量が思ったより多かった。
- ・子供の補助金を何にするか決めること、自治会の夏祭りの準備が大変だった。
- ・子どもが複数いてもやらずに終わる家庭、一人っ子でもやる家庭がある。できる方が、とていうが負担はあり、仕事だからできないのも理解できるが、それを穴埋めできる人だけで負担するのは心理的にも辛い。
- ・仕事をしているため会合が平日参加で仕事を休まなければならないこと。新一年生への挨拶まわりは対象が多く、アポなし訪問のためなかなか連絡がつかず大変だった。
- ・学校とのつながりができたこと。
- ・地区委員について理解するまでに時間がかかった。
- ・地区委員とお世話係が兼任だったので仕事量が多く辛かった。
- ・四役だったので負担が多く、子どもとの時間も減り、ストレス、やりがいを感じなかった。

◆お世話係経験者の感想（抜粋 回答数 172）

【良かったこと】

- ・地域の子どもたち、保護者、ボランティアさんとの交流ができたこと。近所の子の名前が覚えられた。
- ・我が子が嬉しそうだった。子どもたちの顔を見られて楽しかった。
- ・毎朝ではなく最低限の活動でいいと教えてもらい無理なく子どもたちとのコミュニケーションを楽しめた。

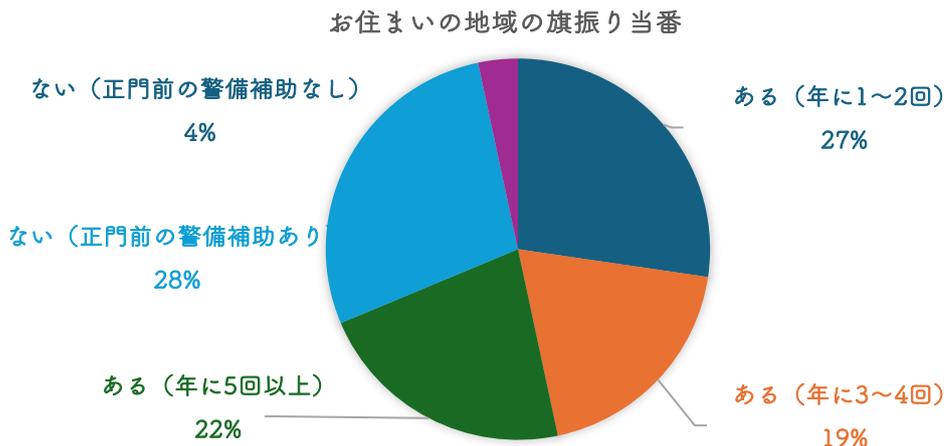
【大変だったこと】

- ・1年間毎日の見送りが大変だった。
- ・自分の子が体調不良で当番に行かなければならず困った。
- ・次年度のお世話係を決めること。
- ・班員が少ないため複数回お世話係をしなければならないこと。
- ・正門警備補助で班の全員の参加ではない場合、どの家庭にお願いするか気を遣った。
- ・集合時間が守られなかったり、欠席の確認（朝の時間帯で忙しい）の連絡が負担だった。
- ・共働き家庭には負担が大きい。出勤がギリギリになってしまう、仕事に遅刻して影響が出る。
- ・地区の行事（祭りなど）への参加が負担。
- ・集合していない子がいる場合、子どもたちだけで出発の判断をするのは難しいと思った。
- ・ルールは決められているが欠席の確認、出発時間の把握のため、結局毎朝でなければならず大変だった。班長に時計を持たせるなどルールに則った活動になるといい。
- ・泣いている一年生の保護者に付き添いをお願いしたがしてもらえず、お世話係が付き添いをしていたこと。
- ・班で揉め事が起きた時に並び順を変えたり、保護者に説明するのが大変だった。
- ・集合場所で暴れたり危険な行動をとる子の対応が大変だった。登校班ごとにルールが違うので統一してほしい。
- ・新一年生への連絡方法が突撃訪問なので互いに不信感しかない。
- ・他の保護者の対応。地区委員もお世話係もしない人が文句だけ言うてくる。
- ・自分勝手な言動をされること。登校班内で独自のルールを押し付けられること（毎朝見送る、登校につきそうなど）。
- ・旗振り当番の調整が必要だったこと。

【その他】

- ・高学年だけで対応できると感じたのでお世話係は必要ないと思った。
- ・自分の班は1ヶ月ごとにお世話係が交代している。共働き家庭が増え、1年交代は負担が大きいので柔軟なルール変更は必要だと思う。

旗振り当番について



登下校上の安全について不安なこと（保護者）（抜粋 回答数 220）

- ・交通事故、スピードを出す自動車、自転車がいないこと、車通りが多いこと。（47件）
- ・交通ルールを守れない、広がって歩いていること、道路にはみ出て歩いていること、ふざけて歩いていること。（31件）
- ・歩道がない、歩道が狭い、横断歩道がない、信号がない、道が整備されていないこと。（24件）
- ・不審者がいること。（23件）
- ・下校の時間がバラバラなこと、一人下校になってしまうこと。（13件）
- ・急に飛び出すしたり走り出して歩行者や自転車とぶつかりそうになっている子がいて、自分の子が巻き込まれないか心配。他の子がストレスを感じている。（10件）
- ・下校時は見守りボランティアや保護者の目が少ない。（8件）
- ・天候不良、夏の猛暑、大雨など。（5件）
- ・児童側が加害者になるような案件がないか（歩行者や自転車との接触、車を傷つけるなど）。
- ・通学路を守っていない。
- ・学校まで遠い。
- ・高学年と低学年で歩く速さが違うこと。
- ・お友達とのトラブルが心配。
- ・通学路の端の方なので最後は一人になってしまうこと。
- ・旗当番で通行者に暴言を吐かれる。
- ・危険な事件が起きているので送迎したい。

通学路上の安全についてお子様とお話されたこと（抜粋 回答数 224）

- ・交通ルールを守ること。横断歩道の渡り方。信号を守る。広がらずに歩く。道の端を歩く。走らない。（81件）
- ・複数人で帰宅すること。下校時は高学年について行くこと。（21件）
- ・自動車や自転車に気をつけること。（21件）
- ・周りの人に迷惑をかけないこと。ふざけたり追いかけてこをしない。傘を振り回さない。（15件）
- ・知らない人とは話さない。不審者に気をつけること。防犯ブザーを持ち歩くこと。こども110番の家、公民館などの場所。（19件）
- ・おしゃべりに夢中にならない。周りをよく見ること。（14件）
- ・寄り道せずまっすぐ帰ること。通学路を守ること。（9件）
- ・他の班を抜かさない。1列で歩く。列が長くなりすぎないようにする。（8件）
- ・定期的に通学路を一緒に歩いたり、危険箇所の確認。（6件）
- ・他人の敷地に入らないこと。
- ・暗くなったら通学路ではなく、車に気をつけて交通量の多い産業道路を通ること。
- ・忘れ物をしても家に戻らないこと。

- ・登校班を待つ間、日陰にいること。水分摂取。
- ・ボランティアさんに感謝すること。
- ・地震や悪天候時の対応・避難について。
- ・登校班に遅れてくる子がいると、急いで歩くことになり危険。トラブルが増えるので登校班はない方がいい。

登校班についてのご意見・ご提案（抜粋 回答数 154）

【廃止】46件

- ・個別登校が良い。
- ・個人で自分の子を送っていく方が良い。
- ・お世話係など保護者の負担が大きい

【保護者の負担軽減】46件

- ・共働き家庭ではお世話係、付き添いは難しい。
- ・地区委員、お世話係など保護者の負担が大きすぎる。
- ・旗当番の回数が地域によって異なり不公平。
- ・旗当番や見守りを外注できないか。

【現状維持】36件

- ・保護者の負担は大きい安全に登校するためには必要。
- ・自宅から学校まで遠いので登校班は無くさないでほしい。

【保護者の責任】8件

- ・他人やお世話係に任せず、自分の子は自分で守る。

【近隣小学校を参考にする】5件

- ・上木崎小学校など登校班のない学校の登下校の方法を聞いて参考にする。

【希望者のみの参加】5件

【地区ごと・班ごとに決める】5件

【期間限定の運用】3件

- ・1学期のみ、など。

【班の構成について】

- ・毎年組み替えないでほしい。
- ・班員の人数を減らしてほしい。
- ・子ども同士の相性が悪くトラブルになる。
- ・地区で分けず、遠回りにならないルートにしてほしい。

【1年生の下校班について】

- ・学校で下校する友達を決めないでほしい。

【見守りについて】

- ・領家交番など、特定の箇所への見守り配置希望。

登校班は防犯・安全・地域のつながりといった多くの利点をもたらしてきましたが、家庭の働き方の多様化が進む中で全家庭で一律に同じ形を維持することは難しく、地域や学年、家庭の事情に応じて継続可能な形への変更が必要かもしれません。

登校班の現状を正確に把握し、課題と地域差を共有することは、今後の登校班のあり方を考える第一歩となります。一人一人の声と地域の実情を大切にしながら、「安全・安心」と「無理のない参加」の両立を目指し、何より児童の安全な登下校を守ることを第一に今後のより良い登校班運営を検討してまいります。

参考資料

木崎小地区委員会—お世話係・地区委員について

https://sites.google.com/view/kizaki-e-district-committee/all/osewa#h.p_MB0boEj831MX

